

**PAT-NO:** **JP408224191A**

**DOCUMENT-IDENTIFIER:** **JP 08224191 A**

**TITLE:** **ATTACHABLE TOILET FOR WHEELCHAIR**

**PUBN-DATE:** **September 3, 1996**

**INVENTOR-INFORMATION:**

**NAME**

**IIJIMA, NORIHIRO**

**IIJIMA, MITSUYO**

**ASSIGNEE-INFORMATION:**

| <b>NAME</b>            | <b>COUNTRY</b> |
|------------------------|----------------|
| <b>IIJIMA NORIHIRO</b> | <b>N/A</b>     |
| <b>IIJIMA MITSUYO</b>  | <b>N/A</b>     |

**APPL-NO:** **JP07070321**

**APPL-DATE:** **February 20, 1995**

**INT-CL (IPC):** **A47K011/04**

**ABSTRACT:**

**PURPOSE:** **To allow a person on a wheel chair to directly evacuate the bowels while he is sitting on the wheelchair by providing a toilet freely**

**attached to  
or detached from the wheelchair with an upper cover, middle  
supporter and  
excrement receiver, where the upper cover serve as the seat  
cover and the  
middle supporter as the seat.**

**CONSTITUTION: A toilet for wheelchair is provided with an  
upper cover 1,  
middle supporter 2 and excrement receiver 3 in this order from  
the top, where  
the upper cover 1 serves as the seat cover and the middle  
supporter 2 as the  
seat. The seat cover 1 is provided with a convex-side Velcro  
tape (R) 4 on the  
periphery of the back side, the seat 2 with a concave-side magic  
tape on the  
periphery of the front side and a convex-side Velcro tape 6 on the  
periphery of  
the back side, and the excrement receiver 3 with a concave-side  
Velcro tape 7  
on the periphery of the front side and a convex-side magic tape  
on the  
periphery of the back side. The toilet can be directly attached to  
a wheel  
chair or detached from it by fixing the seat cover 1, seat 2 and  
excrement  
receiver 3 one on another in this order from the top with the aid  
of the Velcro  
tapes 4 through 7. The wheelchair is provided, at the seat  
center, with a hole  
matching in size a rectangular opening of the receiver 3, and with  
a  
convex-side magic tape on the periphery, to allow the toilet to be  
attached to  
the wheelchair.**

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-224191

(43) 公開日 平成8年(1996)9月3日

(51) Int.Cl.<sup>6</sup>  
A 47 K 11/04

識別記号

序内整理番号

F I

A 47 K 11/04

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1 書面 (全4頁)

(21) 出願番号 特願平7-70321

(22) 出願日 平成7年(1995)2月20日

(71) 出願人 595045048

飯島 鮑宏

神奈川県相模原市大野台2丁目7番1号  
サンライフ相模大野台311号

(71) 出願人 595045059

飯島 光世

神奈川県相模原市大野台2丁目7番1号  
サンライフ相模大野台311号

(72) 発明者 飯島 鮑宏

神奈川県相模原市大野台2丁目7番1号  
サンライフ相模大野台311号

(72) 発明者 飯島 光世

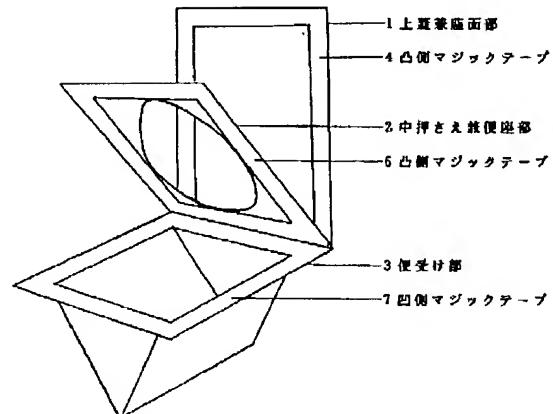
神奈川県相模原市大野台2丁目7番1号  
サンライフ相模大野台311号

(54) 【発明の名称】 車椅子用の脱着式トイレ

(57) 【要約】

【目的】 本発明は、車椅子に座ったままで直接排泄することができ、出先などで緊急にトイレを探す場合に手間が省け、安心して外出できることにより、利用者の行動範囲を従来より広げると同時に、介護者の負担軽減にも役立つようにした車椅子用の脱着式トイレに関するものである。

【構成】 上蓋兼座面部1、中押さえ兼便座部2及び便受け部3により構成された車椅子用の脱着式トイレ。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】一番上に上蓋兼座面部1を設け、その下に中押さえ兼便座部2を設け、一番下に便受け部3を設ける。以上のごとく構成された、車椅子用の脱着式のトイレ。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】【産業上の利用分野】この発明は、車椅子に直接取り付け可能な脱着式トイレに関するものである。

【0002】【従来の技術】従来、車椅子に直接取り付け可能な脱着式トイレはなかった。

【0003】【発明が解決しようとする課題】これは、次のような欠点があった。

(イ) 車椅子に座ったままで、排泄処理ができなかった。

(ロ) 車椅子で外出した際、トイレの所在不明による心配があった。

(ハ) 携帯用トイレを利用する方法もあったが、持ち運びに不便であった。

(ニ) 排泄処理をする際、介護者に多くの負担がかった。

本発明は、これらの欠点を除くためになされたものである。

【0004】【課題を解決するための手段】いまこれを、図面について説明すれば、一番上に上蓋兼座面部1を設け、その下に中押さえ兼便座部2を設け、一番下に便受け部3を設ける。そして、1の裏面周囲には凸側マジックテープ4、2の表面周囲には凹側マジックテープ5、2の裏面周囲には凸側マジックテープ6、3の表面周囲には凹側マジックテープ7、3の裏面周囲には凸側マジックテープ8を付ける。

【0005】【作 用】本発明は、以上のような構成であるから、一番上の上蓋兼座面部1と、その下の中押さえ兼便座部2及び一番下の便受け部3とを、4~7で重ね合わせることにより、車椅子に直接取り付け可能な脱着式トイレとなる。そして、これは次のような使い方がある。

(イ) 1、2、3を重ね合わせたまでも、あるいは、1、2の組合せでも又は1のみでも普通の座面として使用できる。

(ロ) 1をはずせば排泄処理可能なトイレとして使用できる。

(ハ) 排泄した後、3をはずせば排泄物を容易に取り除くことができる。

尚、本発明のものを車椅子に取り付けるためには、車椅子の座席中央に便受け部3の長方形の穴と同じ大きさの穴を開け、その周囲に凹側マジックテープ9をつけることにより、本発明の取り付けが可能になる。従って、当初より車椅子に本発明を利用するための穴をあけ、周囲に凹側マジックテープ9を付けたものはもちろんのこと。

と、穴をあけずに製造されたものについても、上述の加工をすることにより、本発明を利用利用することができる。更に、衛生面から考えて、使い捨てのビニール袋10を便受け部3の内側に使用する。その材質は破れにくく柔らかいものとし、大きさは、便受け部3の内側に接し、7の部分を越える程度とする。又、袋の上部で2と3に挟まる部分には、図11の如く等間隔の穴をあける。これにより、マジックテープ6と7に挟まるため、3の中にずれ落ちる心配がなくなる。

【0006】

【実施例】以下、本発明の実施例について説明する。

(イ) 一番上の上蓋兼座面部1は、ビニール又は車椅子の座席と同等の材質とする。大きさは、車椅子の座席(座幅及び座奥行き)以内とする。裏面周囲には、凸側マジックテープ4を付ける。

(ロ) 1の下につく中押さえ兼便座部2は、木製又は合成樹脂等の人が座っても形くずれしない材質とする。大きさは、1以内とし、中央には、卵型(一般的様式便座サイズ)の穴をあける。表面周囲には、凹側マジックテープ5、裏面周囲には、凸側マジックテープ6をつける。

(ハ) 一番下の便受け部3は、ビニール又はゴム等の柔軟性があり、不浸水性で破れにくい材質とする。大きさは、1以内とし、中央には、2の卵型の長径と短径の接線で書かれた長方形の穴をあけ、その下にV字溝状のものを一体として作成する。表面周囲には、凹側マジックテープ7、裏面周囲には、凸側マジックテープ8をつける。

【0007】【発明の効果】本発明は、以上のような構造のため、これを使用する際は、上蓋兼座面部1をはずすだけで、直接トイレとして使えることから、トイレを探す手間が省け、迅速かつ簡単に用を足せるので、利用者の不便を解消すると共に、介護者の負担も軽減できる。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の斜視図

【図2】本発明の上蓋兼座面部1の表平面図である。

【図3】本発明の上蓋兼座面部1の裏平面図である。

【図4】本発明の中押さえ兼便座部2の表平面図である。

【図5】本発明の中押さえ兼便座部2の裏平面図である。

【図6】本発明の便受け部3の表平面図である。

【図7】本発明の便受け部3の裏平面図である。

【図8】本発明の便受け部3の正面図である。

【図9】本発明の便受け部3の側面図である。

【図10】車椅子の座席の表平面図である。

【図11】使い捨てビニール袋の斜視図である。

## 【符号の説明】

50 1は上蓋兼座面部

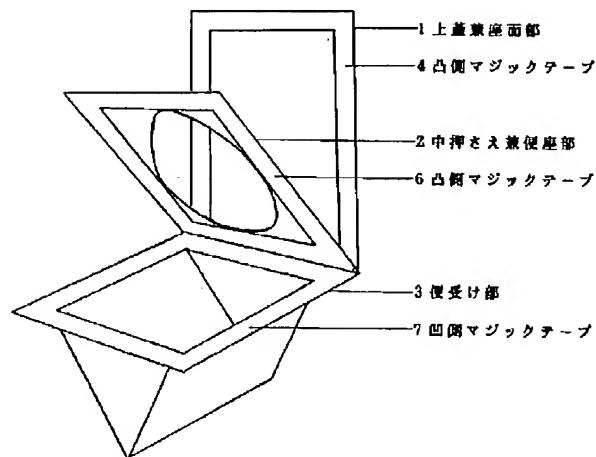
3

2は中押さえ兼便座部  
 3は便受け部  
 4は1の裏面周囲に付けた凸側マジックテープ  
 5は2の表面周囲に付けた凹側マジックテープ  
 6は2の裏面周囲に付けた凸側マジックテープ  
 7は3の表面周囲に付けた凹側マジックテープ

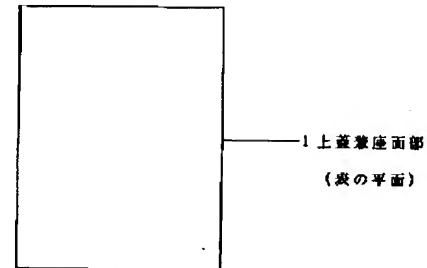
4

8は3の裏面周囲に付けた凸側マジックテープ  
 9は車椅子の座席中央に便受け部3の長方形の穴と同じ  
 大きさの穴を開け、その周囲に付けた凹側マジックテー  
 プ  
 10は使い捨てビニール袋

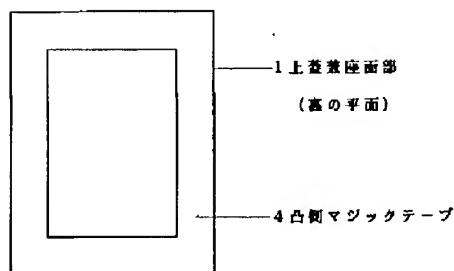
【図1】



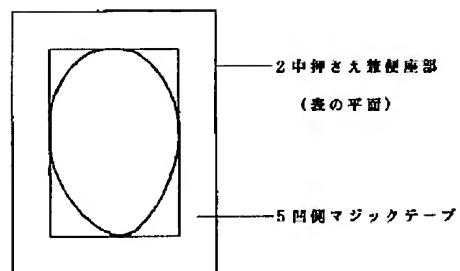
【図2】



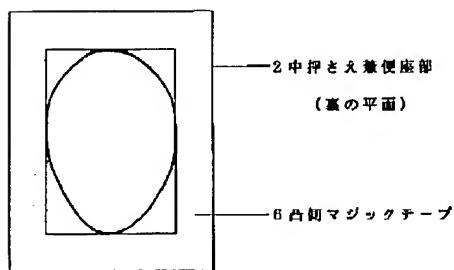
【図3】



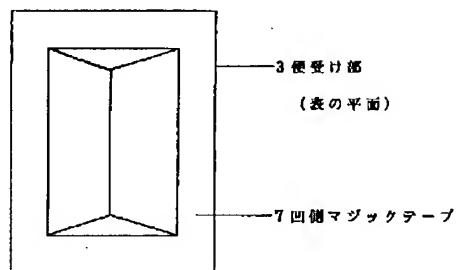
【図4】



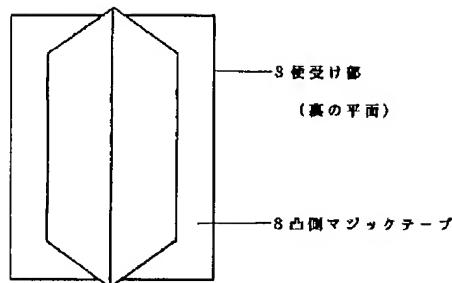
【図5】



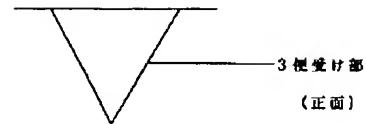
【図6】



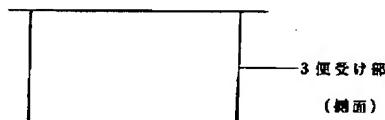
【図7】



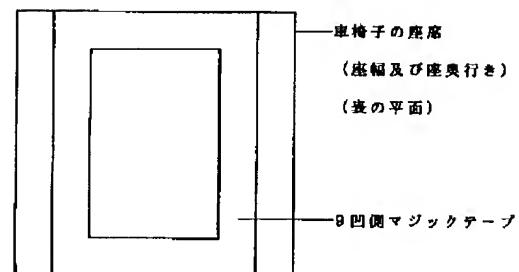
【図8】



【図9】



【図10】



【図11】

